

コロナ禍での第6次総合計画 の進捗状況について



質問者
平野 由里子 議員

新型コロナウイルスの感染者数は落ち着くどころか再び増加傾向にあり、警戒態勢は当分続くものと考えられます。この状況の中、まだ2年目の半ば過ぎである第6次総合計画についてお尋ねします。

- (1) 基本構想・基本計画で大きな影響が出るものはありますか。
- (2) 質の高い学びを掲げてICT教育の充実に取り組んでいたことで、小中学校の一斉休校中のオンライン学習が実現できましたが、情報モラル教育についてはどうなっていますか。
- (3) 男女共同参画・女性活躍の項目の進捗はいかがですか。これらの土台として、女性にとって安

心・安全な環境を整える施策は推進できていますか。

A 総合計画に則り 教育の充実、女性の 安心安全を推進

回答（教育長・町長）



- (1) 基本構想・基本計画は、現在のところ大きな影響は出ていない。変化が予想される観光面については、町の魅力を引き出す滞在型や体験型の可能性を探る。
- (2) 「オンライン学習の心がまえ」や「著作権についての注意」など、情



寄小学校のオンライン学習

- 報モラルについての指導を行っている。各学校年1回、携帯電話会社や松田警察署スクールサポートを講師に招き、インターネットの安全な活用について学んでいる。保護者に対しても懇談会等の機会に情報モラルについて説明する。
- (3) 審議会、委員会の女性割合は依然低いので方策を考える。性暴力に関する相談は、町の子育て健康課や福祉課が窓口となり対応している。女性が安全・安心に暮らせる町として啓発にも取り組む。

産後ケアの充実のために 新たな助成を



質問者
南雲 まさ子 議員

令和元年11月29日に改正母子保健法が成立し、各市町村において、さらに質の高い産後ケアを提供する体制が推進されるようになりました。そこで、次のことを伺います。

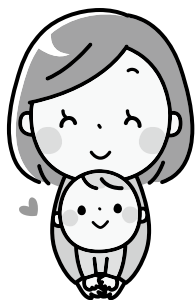
- (1) 県立足柄上病院では2017年1月に産後ケア事業として「産後ケアすくすく」が設置されました。しかしその費用は一泊が6万円、日帰りが3万円と高額なため、利用を控えてしまっている方がいられます。利用しやすくするために本町として「産後ケアすくすく」の費用助成をするお考えはありませんか。

A 産後のお母さんたちに 寄り添う体制を

回答（町長）



- (2) 本町の産後ケアとして、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を全ての対象者にたいして保健師さんが行っています。この事業がさらに拡充されるよう、子育て経験者のうち希望される方が、出産された方のお宅を訪問して、様々な相談を聞く体制にするお考えはありませんか。



- (2) 子育て経験者によるサポート事業は、町民の方々に協力をしていただけるように内容を検討し、養成研修等を行っていく。松田町に合ったサポート事業にし、新米お母さんたちに寄り添う体制づくりを整えていく。

(1) 核家族であったり、産後に里帰りをしたくても、両親が働いていたり、実家が遠方で帰れない等の理由で、産後ケア事業を希望する人が増えている。町で、産後サービス事業のアンケートを取ったところ、宿泊型が半数近く、デイケア型が半数以上の要望があった。今後、ニーズに応じて費用の一部助成を考えていく。